

学習内容報告書 フォーマット

学校名	姫路市立家島中学校
授業者	全教員

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

ふるさとの海を知り、発信しよう

1-2. 学年

3年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合、特活、国語、美術、保体

1-4. 単元の概要

本校3年生は家島小学校時より様々な体験活動を行ってきた。その体験を通して家島の自然や環境、文化、産業を学んでいる。今年度は漂着物から発想したことを絵画と文で表現するという新しい視点からの取り組みを行った。

また、3年生は、これまでの体験や学んできたことをICT（主にタブレット端末）を活用し、まとめ、発信した。特に昨年度海浜清掃に取り組んだ際に目の当たりにした海洋プラスチック問題。書籍やタブレット端末を使って調べたこと、実際の家島本島の状況をGoogleスライドを使ってまとめた。現在の問題点、解決法について、世界レベルでの大きな問題であると同時に、大変身近な問題であることに気づき、当事者意識を高めた。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

既存の特色ある体験活動をICT活用スキルや各教科の教材に応じてまとめ、発信することで学びを深める。海洋プラスチック問題は世界レベルの大きな問題であると同時に身近な問題である。そのため当事者意識を高める必要がある。

海洋プラスチック問題は、大変深刻で悲観的にとらえてしまう生徒もいる。そのため新しい視点から絵画と文で表現する活動を取り入れた。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

ICT機器を活用した表現する能力

目的や場面に応じて表現する能力

集めた材料を整理し伝えあう能力

当事者意識をもって問題発見、問題解決に向かう態度

1-7. 単元の展開（全 23 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
4	家島に感謝する日 海浜の清掃活動と回収物の分別作業を通して身近な海の環境について現状を知る。	教師の指導：回収物の分別 主な評価：主体的協働的な取り組みができたか 問題発見等身近な環境への興味関心 外部連携：家島美化センター
9	ふるさとの海を知る ・ヨット乗船体験 ・地引網体験 ・姫路海上保安部による安全啓発	教師の指導：安全の確保 ふるさとの海について体験させる 主な評価：主体的な取り組みができたか 安全に留意し活動することができたか 外部連携：姫路ヨット協会 姫路海上保安部 男鹿海の家 中村荘
4	明後日のアートの学校 外部講師を迎え、漂流物・漂着物から発想したことを絵画と文で表現し、その作品について説明をする。	教師の指導：外部講師を迎えての学習への取り組み 主な評価：主体的な取り組みができたか 表現力 外部連携：講師 日比野克彦氏 喜多直人氏 姫路市立美術館 使用教材：画用紙、色鉛筆
6	活動のまとめ 海洋プラスチックごみについて調べプレゼンテーションにまとめ、発表し、評価を共有する Google スライドを用いてプレゼンテーションを作成する。ジャムボードを用いて各班のプレゼンテーションを評価し、共有する。	教師の指導：編集して伝えること、相手や目的に応じて伝えることができるよう支援する。 主な評価：主体的協働的な取り組みができたか 目的に応じて情報を収集し編集できたか 使用教材：新しい国語 3（東京書籍）chromebook 電子黒板

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

目的に応じて情報を収集し編集する。
相手に伝わりやすい表現を考える。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 教科書「編集して伝えよう」「場面に応じて話そう」の本文を確認する。 グループ内の役割分担では、各生徒の長所を生かしあう。</p> <p>2 Google スライドを編集する。 作成の経験があるためより良いものになるよう工夫できた。 情報収集、編集、スライドの作成等役割分担を速やかに進められた。</p> <p>3 話す内容を原稿にまとめる Google ドキュメントを使用し、共同で編集する。 グループで下書きを読みあい、わかりにくい部分について確認しあう。</p> <p>4 発表に向けリハーサルをする Google スライド、原稿を実際に使ってプレゼンテーションを試みる。 スライド、原稿を修正する</p>	<p>・「編集して伝えよう」は新聞ではなく Google スライドを利用すると伝える。 「場面に応じて話そう」の原稿はドキュメントを利用し共同で編集するよう伝える /主体的な取り組みができたか</p> <p>・昨年度作成したものを参考にし、著作権等の情報モラルにも注意しながら内容の充実を図る。 /主体的協働的な取り組みができたか /目的に応じて情報を収集し、編集することができたか</p> <p>・話をするのにふさわしい原稿になるよう支援する。 ・ドキュメントまたはスライドを見ながら話せるよう伝える。 /話の内容や構成を工夫できたか /わかりやすく伝わるよう表現を工夫できたか</p> <p>・実際にプレゼンテーションをやってみて相手に伝わりやすくなるよう工夫させる。 /主体的協働的な取り組みができたか /場面に応じた話し方ができたか /収集した情報をわかりやすく伝えることができていくか</p>

3. 今回の活動の自己評価

2年間の海洋教育単元開発に携わってきた本校の3年生は、様々な体験活動を通して「ふるさとの海」についての知識を身に着け、経験を重ねることができた。

学びの継続のため、活動のまとめを残す必要性を強く感じていた。今年度の3年生はタブレット端末やアプリケーションを利用してプレゼンテーションの形で、海洋ごみ問題に特化してまとめた。3年生はタブレット端末の使用のスキルアップにも努めてきた。Google スライドやドキュメントの使用もスムーズにできた。

教科を横断した単元開発にもなることから、国語科において編集して伝えることと、場面に応じて伝えることを並行して行った。生徒数が少なく、一人一役にも取り組んできたことから、プレゼンテーションという形もスムーズに進めることができた。

また、海洋ごみ問題は調べ学習を進めると世界規模の大きさと大変な深刻さから、悲観的にとらえてしまう生徒もいた。そこで、明後日のアートの学校での取り組みは視点や発想を変えるよい機会となった。

4. 今後の課題

2年間継続して取り組んだ海洋ごみ問題は、規模も大きく大変深刻である。問題が解決に向けて進んでいることが実感できるきっかけがあればと強く感じた。

海洋教育には小中で取り組んでいるため、重複した活動をできるだけなくし、学びの継続を図る。

インターネットを介した情報については信ぴょう性に疑問が残るものもある。そのため情報収集能力とともに誤った情報に気づくことができる能力も必要であると感じた。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特記な式

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。